



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 内田 幸雄
コ ー ド 番 号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部
問 合 せ 先 財務IR部IRグループマネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

当社子会社（東邦チタニウム株式会社）の個別業績の前期実績値との
差異に関するお知らせ

当社連結子会社である東邦チタニウム株式会社（証券コード：5727・東証第一部）が本日公表いたしました平成 28 年 3 月期個別業績に係る実績値につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期実績値（個別）と前期実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成 27 年 3 月期)	百万円 33,172	百万円 △2,963	百万円 △2,849	百万円 △2,634	円 銭 △37.01
今回実績(B)	36,549	3,588	3,532	4,289	60.27
増減額(B-A)	3,376	6,551	6,381	6,923	—
増減率(%)	10.2	—	—	—	—

2. 差異の理由

金属チタン事業では、スポンジチタンについては、航空機向けを中心に販売が増加しました。また、インゴットについては、海水淡水化プラントの新規案件に加え、造船・電力向けも引き続き堅調で、需要は総じて回復基調に推移しました。これらを背景に、スポンジチタン及びインゴットの売上高は、増販及び円安等により前期に対し増加しました。

機能化学品事業では、触媒関連製品及び電材関連製品の売上高は、販売先であるポリプロピレン業界、電子部品業界の好調を受けての増販及び円安等により増加しました。

以上に加え、これまで取り組んできたチタン事業構造改革計画等の成果もあり、売上高、利益とも前期に比べ増加しました。

以 上